

第1学年〇組 学級活動（1）指導案

平成27年11月12日（木）第5校時
指導者 教諭 池田 有理子

1 議題「2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会をしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、素直で明るく元気いっぱい、晴れの日のお休みや昼休みは、一斉に校庭に遊びに行っている。また、係や当番活動など自分の役割に一生懸命取り組むことができる。しかし、1年生という発達段階もあって自己中心的で、友達のことを考えて行動がとれないこともある。

1学期の学級会は、まず、入学したばかりで字を書いたり、上手に発表したりすることができないので、「学級会のオリエンテーション」「みんながなかよくなるおにごっこをしよう」「雨の日の遊びをしよう」について、司会グループを作らず、教師が議題を決めたり、希望する児童と一緒に司会や黒板記録を行ったりした。そして、7月に行った「1学期がんばったね会をしよう」から、司会グループを作り、児童ができることから、少しずつ学級会ができる準備を進めてきた。そして、2学期から、学級会ノートを作成したり、司会グループで事前の活動をしたりと本格的に学級会を行い、「のまさんよろしくねの会をしよう」「むしとり大会をしよう」「ハロウィンパーティーをしよう」「ボランティアさん、ありがとうの会をしよう」について行ってきた。

こうした集会活動では、学級全体が盛り上がり、実践後の振り返りカードで「みんながなかよくなってきた」「〇〇さんと友達になれた」等の記述が多く、毎回、みんながなかよく楽しい会を開くことができている。しかし、学級会では、全体的に声が小さく、はっきり自分の意見を言えなかったり、相手の話を聞けなかったりと課題が多い。

また、学級活動についてのアンケートを実施したところ、集会活動は、「みんなで遊べる」「みんながなかよくなれる」「今まで楽しかった」という理由で、全員（33名）が「楽しい」と思っていることがわかった。しかし、学級会については、「みんなで決めるのが楽しい」「みんなの理由を聞くのが楽しい」「わくわくする」「いろいろなことができる」という理由で「楽しい」（30名）と答えた児童が多かったが、その反面「やり方がわからない」「答えられない」という理由で「楽しくない」（2名）「よくわからない」（1名）と答えた児童もいることがわかった。

（2）議題選定の理由

本議題は、1学期に生活科の授業でペアとなり、手をつないで学校を案内してもらったり、遊ぼう集会をして、遊んでもらったりした2年生と今度は、低学年のペア学級として1年1組と2年1組と一緒に遊ぶことで、もっと仲良くなりたいという児童の提案によるものである。

他に「リレー大会がしたい。」という提案もあったが、「リレーは、体育でもできる。」「2年生ともっと遊びたい。」という意見が多かったことや2年1組でも「1年生ともっと遊びたい。」という声があがっているということで決定した。そして、2年1組の担任と話し合い、一緒に集会を開くことにした。また、当日の集会の司会を2年生から1人・1年生から1人決めるなど係分担も協力して行い、遊びも1年生から1つ、2年生から1つずつ出し合って行うことを決めた。

本議題では、「武西発表名人」「学級会忍法」を活用することで、自分の意見を伝え、集団決定ができるようにしていきたい。また、計画を立て、実践をすることによって1年生だけでなく、2年生とも仲良く助け合って、楽しい学校生活を送れるようにしていきたい。

3 研究の視点と具体的な手立てについて

【視点1】言語活動の充実を図り、望ましい人間関係を形成する学習指導

- ① 話合いの進め方（司会グループ用）…… 話合いの基本的な進め方や話し方を学ぶために話型武西発表名人（学級全員用）を活用する。
- ② 学級会ノートを活用 …………… 自分の意見をしっかりもって、学級会に臨めるようにする。
- ③ 学級会忍法（まとめる）…………… 折り合い（自分もよくて、みんなもよい）をつけ、集団決定ができるようにする。
- ④ 司会グループへの事前指導 …………… 教師が中心となって、一緒に活動計画を作成する。また、事前に話合いの練習をし、スムーズに話合いが進行できるようにする。
- ⑤ 黒板の板書の工夫 …………… 思考を整理し、意見を出しやすいように工夫する。（短冊による意見の分類・話合いの段階の明確化）自分だけでなく、みんなのことを考えられるように工夫する。（ありがとうマーク・解決マーク）

【視点2】評価方法の工夫による指導方法の工夫改善と学習意欲の向上

- ① 学級会ノートの活用 …………… 「じぶんもよくてみんなもよい、はなしあいできましたか。」という折り合いをつけた話合いができたかを評価の観点にいれる。
- ② 活動振り返りカード …………… 自分のがんばったところや友達のよかったところなどお互いのよさを認め合えるようにする。また、友達にも読んでもらえるように掲示する。
- ③ 評価補助簿の作成 …………… 教師が児童の実態を正確に把握し、評価できるようにする。

4 第1学年及び第2学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5 事前の活動

【司会グループの活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月2日 (月) 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・議題ポストを開けて、議題を選定する。 〈提案された議題〉 ① 「2年1組と一緒に遊びたい。」 ② 「リレー大会がしたい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。 ・議題の選定の視点を明らかにし、出された議題の中から、時期や実践の可能性や話合いの必要性などを話し合わせ、議題を選定する。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 〈提案カード・観察〉
11月6日 (金) 業間休み 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画、学級会ノート、活動カレンダーを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題案をもとに、議題、提案理由を一緒に考えるようにする。 ・教師が中心となって一緒に話合いの柱を決めるようにする。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会を開くために話し合わなければならぬことを理解している。 〈活動計画・観察〉
11月10日 (火) 業間休み	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の学級会ノートに目を通す。 ・意見を短冊に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの見通しがもてるようにする。 	
11月11日 (水) 業間休み	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動計画をもとに司会や黒板記録の仕方などの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって司会や黒板記録ができるように話合いの練習を行う。 	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月5日 (木) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・議題を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの提案を基に全員で決定する。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 〈提案カード・観察〉
11月9日 (月) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに自分の考えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まっていること（条件）が共通理解できるよう必要に応じて助言する。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会の目的に合った意見を考え、理由とともにノートに書くことができる。 〈学級会ノート〉
11月11日 (水) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートを受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。 	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

○2年1組と1年1組がもっと仲よくなれるような集会の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

だい	かい がつきゅうかいかつどうけいかく 11月12日 (水) 5じかんめ	
ぎだい	2ねんくみと1ねんくみがもとなかよくなるかいをしよう	
やくわり	しかい () () こくばんきろく () () ノートきろく () ていあんしゃ ()	
ていあん りゆう	いちがっきペアの2ねんせいにかうごうをおもいでしてもらいたい しょにこういであそびたいしてたのしか来てまだからつくとはペア がきゅうして2ねんくみと1ねんくみがいっしょにあそびば もとなかよくなるとおもいていあんしました。	
めあて	2ねんせいももとなかよくなるあそびくふうをかんがえよう。 ○さんせいやはんたいのりゆうをはっぴょうしよう	
きまってる こと	11がつ25にち(水)5じかんめ はしゅこういで あそび=1つ	
はなしあいのじゅんじよ	きをつけること	じゅんび
1 はじめのことば	しげんきよく、大きなこえていう。	
2 しかいグループのしょうかい	しげんのめあてをいってしげんを	
3 ぎだいのかくにん	する。	
4 ていあんりゆうや めあてのかくにん	ぎだいがわかるよ※大きなこえていう	
5 きまってることの かくにん	2ねんせいのおもいでのをしげんをみせ ていあんりゆうをわかりやすくせつめいする。	
6 はなしあい	だきられたいけんをたんざくかいてつく	
① どんなあそびをするか (12ふんかん)	ばんにはってあそび。 いけんをてらべあうのたんかいから はなしあう。	
② もとなかよくなるために どんなくふうができるか (15ふんかん)	○みんなができるだけはっぴょうできる ようにする。 ○りゆうをつけていけんをいってもらう ようにする。	
③ どんなかがいがかひつ つか。 (5ふんかん)	○はんたいのいけんをいって私たちには さんせいのいけんをいってもらう。 大きなこえてはっきりとはっぴょうする。	
7 きまったこと	しげんのがんは来たところだけでなくともだち	
8 ふりかえり	のがんは来たところもみつけられるようにする。	
9 せんせいのはなし	○ながよくなるかいにむけてやるきができる	
10 おわりのことば	ようしげんきにいう。	

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>1 始めの言葉</p> <p>2 司会グループの紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由やめあての確認</p> <p>5 決まっていることの確認</p> <p>6 話合い</p> <p>① どんな遊びをするか。</p> <p>② もっと仲良くするために、どんな工夫ができるか。</p> <p>③ どんな係が必要か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶を行い、みんなでよりよい学級にしていこうとする意欲を高める。 ・自分のめあてが言えるように、事前に指導する。 ・2年生に学校案内してもらったり、遊んでもらったりした写真を見せ、楽しかった思い出を振り返ることで相手意識をもち、話合いができるようにする。 ・提案理由をキーワード化し、児童に分かりやすく伝え、理由に結びつけられるようにする。 ・事前に学級会ノートに自分の意見を書かせ、自分の意見をもって学級会に臨めるようにする。 ・「出し合う」では、時間を有効活用するため、あらかじめ、短冊に意見を書き、掲示しておく。 ・話合い①の「比べ合う」では、出てきた意見を「鬼ごっこ系」「ボール系」などに教師が分類整理する。 ・発表の話型「武西発表名人(学級会)」を使って、発表ができるようにする。 ・上手く説明できていない意見には、補足説明をし、児童同士が共通理解を図れるようにする。 ・話合い②の比べ合うでは、全体に関わる工夫について話し合う。 ・話合いが混乱したり、行き詰ったりしたときは、提案理由や話合いのめあてに返るように全体に助言する。 ・まとめでは、教師が積極的に司会の役割を担い、「学級会忍法」を活用して集団決定ができるようにする。 ・少数意見を大切にし、少数意見であっても発言の機会を与えたり、決定をするとき、了承をとったりしてから行うようにする。 ・黒板内に時計の掲示をしたり、ノート記録に時間を知らせたりすることで、時間を意識して、話合いを行わせるようにする。 ・プログラムを掲示して、どんな係が必要か見つけやすくする。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成・反対の理由を発表することができる。 <p>〈観察・学級会ノート〉</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成や反対の理由の発表の仕方を理解している。 <p>〈観察・計画委員会活動計画〉</p>

7 決まったことの発表	・ノート記録は、大きな声で伝え、決定事項をみんな確認できるようにする。	
8 振り返り	・話し合いを振り返り、自分のがんばったところを自己評価するとともに、友達のがんばった点についても相互評価ができるように助言する。	
10 先生の話	・前回の学級会と比べてよかったこと、次回の課題、計画委員へのねぎらいを伝えるとともに、実践への意欲を高める言葉がけをする。	
11 終わりの言葉		

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月13日 (金)～ 11月24日 (火)	・係の役割分担 ・係の準備 ・2年1組の係との打ち合わせ	○活動カレンダーをもとに、計画的に準備が進められるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・「2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会」の準備に進んで取り組んでいる。 〈観察〉
11月25日 (水) 4時間目	・「2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会」	○友達や2年生と協力したり、活動を工夫したりしていた児童を称賛する。	【思考・判断・実践】 ・自分の役割に責任をもって取り組んでいる。 ・友達や2年生と仲良く、助け合って活動している。 〈観察・振り返りカード〉
11月25日 (水) 5時間目	・「2年1組と1年1組がもっとなかよくなる会」の振り返り	○自分の態度を振り返り、今後の生活づくりに生かせるようにするとともに、友達や2年生のよいところについても認められるように助言する。	

8 資料

(1) プログラム

司会（1年生…1人 2年生…1人）	
1	始めの言葉（2年生）
2	ゲーム①（1年生で考える）
3	ゲーム②（2年生で考える）
4	感想発表（1年生…1人 2年生…1人）
5	先生の話
6	終りの言葉（1年生）

(2) 武西発表名人

だけにしはっぴょうめいじん

(がっきゅうかい)

だしあう

・はい、□□□がよいとおもいます。す。
す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。



くらべあう

・はい、□□□にさんせいです。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。
・はい、□□□にはんたいです。す。す。す。す。す。す。す。す。す。す。
だからです。□□□にさんせいです。
・はい、すがしんばいなら、すすればよいとおもいます。

まとめる

・はい、□□□にさんせいが、おおいので、□□□
□がよいとおもいます。
・はい、がっきゅうかいにんぼうの△△のじゅつ
をつかって、□□□がよいとおもいます。



(3) 学級会忍法 (まとめる)



がっきゅうかいにんぼう
～まとめる～



サッカーもドッジボールもやりたい。



ていあんりゅうの
じゅつ

だんしも
じょしも
できるという

ていあん
りゅうから

がったいのじゅつ

あわせて

おねがいのじゅつ

こんがい

かかりで

もりあわせのじゅつ

すこしずつ